

4-11		主題	ケアマネジメントにおけるサービスフィッティングサポートについて	
フィッティングサポート		副題	認知症高齢者を支援するサービスや制度・施策の課題点・不足点の洗い出しと整理作業を通じて	
ケアマネジメント				
研究期間	12ヶ月	事業所	社会福祉法人 至誠学舎東京 サンメール尚和	
発表者：山極 愛郎（やまぎわ よしろう）			アドバイザー：高橋 正人（たかはし まさと）	
共同研究者：久松 信夫				
電話	042-467-8686	メール	infoday@sunmail.shisei-tokyo.or.jp	
FAX	042-467-8938	URL	http://www.sunmail.shisei-tokyo.or.jp	

今回発表の事業所やサービスの紹介	サンメール尚和は、昭和30年に開設した養護老人ホーム尚和園を昭和60年に閉園し、デイケアセンター（通所介護、認知症対応型通所介護、居宅介護支援）を併設して開設した施設です。開設当初から「認知症ケア」と「食生活を通じた生きがいの提供」に力を入れており、安全・安心・手作りが基本の旬の食材を使った食事はおいしいと評判です。
------------------	---

《研究前の状況と課題》

ケアマネジメントの実践現場では、認知症があつてサービスの適用が困難なケースに遭遇することが少なくない。

これらのケースはサービスラインに乗るか否かで在宅介護継続の展望が異なってくると言えよう。

それだけに、ケアマネジャー等はサービスの規格にあてはまらない認知症高齢者に対し、サービスがフィットできるようなサポートをしばしば行い、可能な限りサービスラインに乗せられるように努めている。

しかし、このような支援実践上の工夫や知見はその重要性とは裏腹に、日々の業務のなかに埋もれ、共有されることが少ないため、これからのケアマネジメントに反映される機会を得ていない。

《研究の目標と期待する成果》

○目標

本研究ではサービスラインに乗らない等で認知症高齢者や家族の在宅生活の継続に支障を来している事例を通じ、サービスや制度・施策に共通する課題の洗い出しと整理を行う。

そのうえで、ケアマネジャー等の仕事と密接に係る課題を絞り込み、その課題に対するサポート内容を明らかにする。

○期待する成果

ケアマネジャー等が、認知症高齢者と家族を支えるうえで直面している課題が明らかとなり、今後に繋げることができる。

また、ケアマネジャー等が第1 義的に取り組むべき課題の絞り込みにより、サービスの課題を補う効果的で効率的なサポートについて議論を深めることができる。

《具体的な取り組みの内容》

(1)対象者

武蔵野市、小金井市、西東京市の地域包括支援センター、在宅介護支援センターならびに当法人の居宅介護支援事業所に所属するケアマネジャー27人/回×5回＝延べ135人

(2)取り組みの具体的手法

認知症高齢者とその家族を支えるサービス領域を5つ（①訪問系②通院・通所系③入院・入所系④手続き系⑤暮らし系）に絞り、各サービス領域の課題の洗い出しを行う勉強会を開催した。

(3)実施時期と期間

平成21年6月～平成22年2月の偶数月で5回/年。12ヶ月

(4)取り組み手順

①「勉強会のすすめ方」を定め、これに従いグループ討議によるサービスの課題洗い出し作業を行う。

②洗い出した課題の共通項を探しグループ化を行う。

③グループ化した共通課題をケアマネジャーの役割機能に照らし優先順位づけを行う。

(5)活動の成果を出すポイント

ケアマネジャーの知見から、サービスに必要なフィッシングサポートとは何かを知り、実践できること。

《取り組みの結果と評価》

認知症高齢者とその家族を支えるサービスの課題の洗い出しから共通する8つのキーファクターを抽出した。

この8つをケアマネジャーの職域や役割機能に照らし3つにレベル区分し、優先順位づけを行った結果、ケアマネジャーなどの実務者の共通課題は、「介護サービスの質」と「情報提供」のあり方に集約されることが分かった。

また、この課題洗い出しの作業を通じ、既存のサービスは認知症高齢者のニーズにマッチングしない枠組みがあるため、フィッシングサポートが何よりも重要との結果が得られた。

《まとめ》

レディメイドのサービスを利用者の個別性に配慮し、可能な限りカスタムメイドに近いものとして提供しようとするフィッシングサポートは、認知症などのように定型サービスに馴染まない対象者の支援には必要不可欠であることが改めて認識された。

逆にこのフィッシングサポートが有効に機能しない場合は、サービス自体あってもなきに等しい状況となることから介護サービスの質を向上させる観点からもフィッシングサポートについてのよりよい理解が必要となるとの認識を深めた。

《提案と発信》

ニーズとサービスの齟齬をフォローするケアマネジャー等によるフィッシングサポートについて理解を深めていただき、そこから求められる認知症対応サービスづくりへ第一歩を踏み出す一助になれば幸いです。福祉の現場にある知見（臨床の知）をサービスや制度・施策の不足点や課題の改善に少しでも繋げてゆきたいと考えます。

【メモ欄】追加資料 有 無